**オオイシソウ**（オオイシソウ 科）　　**兵庫県：Aランク**

*Compsopogon coeruleus* (Balbis) Montagne　　**環境省：絶滅危惧Ⅱ類**

## 種の概要

藻体は暗青緑色、小さな付着器から数本のひも状または糸状の直立枝を出し、基部近くで2～3回分枝。糸状の藻体は太さ1～1.5mm、長さはふつう10-30 cm。よく生長すると 1 m に達することもある。和名は本種の発見者大石芳三の名に由来。小河川や農業用水路の水底の石、水草などに着生。河口などの汽水域に出現することもある。

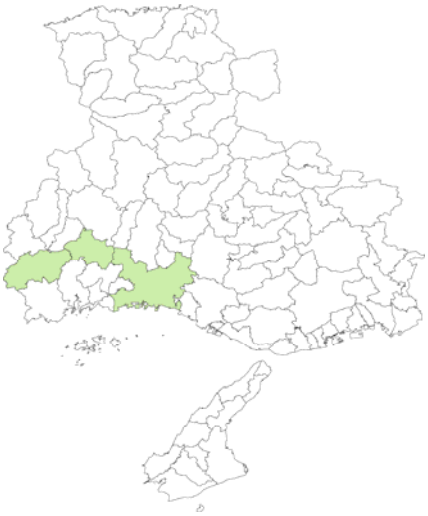
写真提供：佐藤裕司

## 国内分布

北海道、青森県、福島県、埼玉県、群馬県、茨城県、東京都、千葉県、神奈川県、三重県、滋賀県、香川県、熊本県、

## 県内分布

姫路市、新宮町、上郡町。姫路市と新宮町の生育地では消滅した可能性が高い。



## 選定理由

| 人為性 | | 特殊性 | | 学術性 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 生育環境破壊 | 観賞用等採取 | 特殊生育環境 | 特異な生態 | 特殊な分布 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | | ○ | | | | ○ |

## 特記事項

生育地には湧水が見られる。

## 保護上の留意点

湧水の保全に留意する必要がある。